

今期から長期ビジョン「E-Vision2035」と、その表現に向けた最初の3カ年の計画である中期経営計画「E-Plan2028」を始動した佐原製作所。半導体分野では想定を上回る速度で市場拡大が進む一方、エネルギー分野では中東情勢の緊迫化など計画策定時から事業環境が急変している。細田修吾社長に聞いた。

◇

▼…事業環境が変化するなか、経営計画に変化はありますか。  
「最もダイナミックな変化は半導体関連事業であり、想定以上のスピードで市場が拡大してい

佐原

## 細田 修吾 社長に聞く

### 急成長する半導体関連事業

### 先行的に増産投資推進



置は前中計期間に2030年頃を見据えて生産能力を引き上げたが、フル稼働に近づきつつある。「エッチングプロセスでは精密化に向けて低温化が進んでいる。エッチング装置の冷却を担うチラーにおいて、従来のマインス30度C程度よりも大幅に低いマインス60度Cのチラーを開発し、新規市場に参入した。極低温を実現しながらも水と電力の消費量を最大50%抑えたのが特徴で、建築・産業事業部が培ってきた冷熱・流体制御の技術と半導体分野の知見を組み合わせることで実現した。今後も事業部を越えた連携により、半導体工

る。他のビジネスとは異次元の成長速度であり、半導体ウエハー製造装置市場成長率の見立てを当初の10%から18%に引き上げた。逆風というより追い風的な想定超えた。先行的に増産投資を進めており、主力のCMP装

計画していた半導体製造装置を補助する機器（コンポーネント）に加えて、CMP装置についても必要な投資が前倒しで必要になりそうだ」

▼…半導体事業と建築・産業事業が目指すシナジーの成果は。

「エッチングプロセスでは精密化に向けて低温化が進んでいる。エッチング装置の冷却を担うチラーにおいて、従来のマインス30度C程度よりも大幅に低いマインス60度Cのチラーを開発し、新規市場に参入した。極低温を実現しながらも水と電力の消費量を最大50%抑えたのが特徴で、建築・産業事業部が培ってきた冷熱・流体制御の技術と半導体分野の知見を組み合わせることで実現した。今後も事業部を越えた連携により、半導体工

### 中東情勢緊迫も受注は好調

場全体を対象に、コングロマリットならではのソリューションを提供していく」

▼…中東情勢のエネルギー事業への影響は。

「売り上げ面は少し遅れ気味だが、受注は非常に進んでいる。もともと強かった石油化学など下流に加えて上流側を戦略的に攻めるなかで、中東の大型天然ガス処理プラント拡張プロジェクト向けにコンプレッサーを受注した。過去最大規模の受注にいたったのは、中東の大口顧客と築いてきた信頼関係と、サービス&サポート（S&S）体制の拡充を図ってきたことが背景にある。中東ではUAEアブダビにS&S拠点を建設中で、将来的

な復興需要も見据えた準備を進めている。世界のオイル&ガス分野をリードする米国では、ジュネット工場の生産設備近代化とヒューストンのS&S旗艦拠点を拡充した。拡大する天然ガス関連の需要を取り込んでいく」

▼…脱炭素関連事業の進捗状況はいかがですか。  
「日本は川が急峻で雨水が一気に流れ込む地形のため、河川流域単位での治水管理が必要になる。トップシェアの排水ポンプを駆使して、従来よりも高い視座に立ち、要所への的確なポンプ配置や、ポンプ間連動システムなどを提案している」（聞き手＝石井優子）

▼…脱炭素関連事業の進捗状況はいかがですか。  
「日本は川が急峻で雨水が一気に流れ込む地形のため、河川流域単位での治水管理が必要になる。トップシェアの排水ポンプを駆使して、従来よりも高い視座に立ち、要所への的確なポンプ配置や、ポンプ間連動システムなどを提案している」（聞き手＝石井優子）

▼…脱炭素関連事業の進捗状況はいかがですか。  
「日本は川が急峻で雨水が一気に流れ込む地形のため、河川流域単位での治水管理が必要になる。トップシェアの排水ポンプを駆使して、従来よりも高い視座に立ち、要所への的確なポンプ配置や、ポンプ間連動システムなどを提案している」（聞き手＝石井優子）